**履　　　歴　　　書**

(　　　年　　月　日現在）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ氏名 |  | 性別 |  | 国籍 |  | 写真貼付 |
| 生年月日 | 年　　月　　日（満　　歳） |
| 現住所 | 〒　　－　 | 電話　（ ） －FAX　（ ） －Email： |
| 勤務先 | 〒　　－　 | 電話　（ ） －FAX　（ ） －Email： |
| 学　　　　　　　　　　歴 |
| 年月 | 事　　　　　　　　　　項 |
| 年 月1997年　3月1999年　3月2004年12月 | 【学位・称号】学士（○○大学）修士（○○学）（○○大学　○○第○○○号）博士（○○学）（○○大学　○○第○○○号） |
| 職　歴　（　教　育　歴　） |
| 年月 | 事　　　　　　　　　　項 |
| 年 月2005年 4月2005年 4月2006年 3月2007年 3月2007年 4月 | ○○大学　○○学部　○○学科　特任助教　採用私立○○大学　○○学部　非常勤講師　採用私立○○大学　○○学部　非常勤講師　任期満了○○大学　○○学部　○○学科　特任助教　辞職○○大学　○○学部　○○学科　講師　採用（現在に至る） |
| 免許、資格及び外部検定試験（スコア等） |
| 年月 | 事　　　　　　　　　　項 |
| 年 月 |  |
| 賞　　罰 ・ 処 分 歴 等 |
| 年月 | 事　　　　　　　　　　項 |
|  |  |
| 本書類の記載内容については事実に相違ありません。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　（自署） |

**【記入上の注意】**

※職歴（教育歴）の欄には、最終学校卒業等の月の翌月から、空白期間がないように記入すること。

なお、在宅期間については、「在家庭」と記入すること。

※賞罰・処分歴等欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

**業　績　調　書**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |

**Ⅰ　教育業績**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教育上の業績に関する事項 | 年月又は期間 | 概　　　要 |
| 1．教育機関における教育指導の改善への積極的貢献2．教育機関における教育指導の実績　3．教育機関における教育指導上の努力点4．その他 | ○年○月〇年〇月〇年〇月〇年〇月○年○月～○年３月○年度○年度○年度〇年度〇年度〇年度 | 教科書の出版、教育実践に関する報告書の作成等・教養教育科目「〇〇」で使用する教科書〇〇〇を共同執筆者し、〇〇社より出版した。・必修科目「〇〇」において、アクティブ・ラーニングを導入した授業を実践し、〇〇報告書としてまとめた。教育実践に関する研修等・〇〇〇に関するFD研修会を企画した。正課外における教育実践等・指導している〇〇サークルが、〇〇大会で金賞を受賞した。英語授業を担当した年数・○○大学（高校）：○年○月・〇〇学部教育：〇年〇月担当授業科目名と受講者数・共通教育：初年次セミナーⅠ（３６名）、･････・〇〇学部：○○○論（２０名）、･････・〇〇研究科：○○○特論（５名）･････・共通教育：〇〇学入門（２００名）･････・〇〇学部：〇〇〇概論（３０名）･････その他勤務における貢献・〇〇高校で出前授業〇〇〇を実施した。・入試試験で〇〇〇の問題を作成した。・進路指導を担当した。教育改善に関する取り組み・教養教育科目「〇〇」でmanabaを活用し、自学自習を促進した。該当なし |

**Ⅱ　その他業績**

|  |
| --- |
| １　研究に関する業績（論文）（著書）（口頭発表）（その他）２　管理運営・社会活動（所属組織内における活動等）（所属組織外における活動等）（学会活動等）（その他） |

模擬授業及び面接予定日（いずれかに印を付けてください）

|  |  |
| --- | --- |
| ９月14日（日） | 第１希望　・　第２希望　・　不可 |
| ９月15日（祝日） | 第１希望　・　第２希望　・　不可 |

**履歴書・業績調書の記入要領**

**共通事項**

1. 用紙はA４版縦長、横書きとする。
2. 字体は、明朝体で、フォントサイズ10.5ポイントとする。
3. 年号は西暦を用いる。
4. 青字は例示であり、調書作成の際は削除する。
5. 適宜行を追加して記入のこと。

**履歴書**

１．年齢は、採用予定日現在で記入すること。

２．学歴は、高等学校卒業以降全て記入すること。外国の学校名は英文表記等でよい。

３．学位・称号は全て記入すること。

　　（例）○○学士（○○大学）、修士（○○学）（○○大学 ○○第○○○号）

　　　　　博士（○○学）（○○大学　○○第○○○号）

４．職歴は一機関における在職状況を明確に記入し、以下のとおり統一する。

（例）○○○○年○○月 ○○○○採用／入社／勤務

 　○○○○年○○月 同上　辞職／退職

５．写真は申請時３ヶ月以内のものを貼付すること。

６．署名は直筆とすること。

**業績調書**

1. Ⅰ教育業績、Ⅱその他業績でページを改めること。
2. Ⅰ教育業績について

記入例を参考にして「教育上の業績に関する事項」の4項目について時系列で記入すること。

①　教育機関（高等学校以上）における教育指導の改善への積極的貢献

(ｱ)　作成した教科書・教材、教育における教育実践に関する調査・実践報告等

(ｲ)　教育実践に関する研修等

(ｳ)　その他正課外における教育実践(外国語ラウンジ、クラブ活動指導、留学生指導を含む。)に関わる顕著な業績等

②　教育機関における教育指導の実績

(ｱ)　授業を担当した年数

(ｲ)　担当授業科目名と受講者数

(ｳ)　その他勤務における貢献

③　教育機関における教育指導上の努力点

(ｱ)　特に行っている授業改善に関する取り組み

④　その他

(ｱ)　教育機関以外における教育活動等

３．Ⅱその他業績について

（研究に関する業績）

* + 1. 論文は、最新のものから順次発表年を遡ってすべてについて記入すること。著者が多数の場合は、主な著者を記入し以下は省略可能とする。ただし、省略する場合は外○人と人数を記入し、申請者本人が何人中何番目であるか明示すること。また、責任著者の場合はその旨明示すること。
1. 著書、口頭発表は最新のものから順次発表年を遡って記入すること。
2. 特許は、該当する事項について記入すること。
3. 学術賞は、学会の論文賞等学術で貢献したことに対する受賞について記入すること。
4. 研究助成は、科学研究費補助金、産学連携研究等競争的資金などの取得状況、及び共同研究、受託研究について記入すること。また、本人が研究代表者であれば、本人申請者名にアンダーラインを引くこと。
5. 上記項目で該当のない事項については、“該当なし”と記入すること。
6. その他は、上記のいずれにも分類されていない研究活動で、自己ＰＲの必要があると判断される事項について記入すること。

（管理運営・社会活動）

①　所属組織内における委員会活動等について記入すること。

（例）教育機関に所属している場合の記入事例

・　機関長から指名された役職等とその期間

・　委員経歴

（例）企業等に所属している場合の記入事例

　　　・　企業等における職階で、教育機関における委員と同等と思われる諸活動について記入する。

②　所属組織外における委員会活動等は、国又は地方公共団体等の委員会活動等について記入すること。

③　学会活動等は、所属学会における委員の経歴、国際大会、全国大会、支部大会等における座長等の経歴を記入すること。

④　その他は、上記のいずれにも分類されていない管理運営・社会活動で、自己ＰＲの必要があると判断される事項について記入すること。